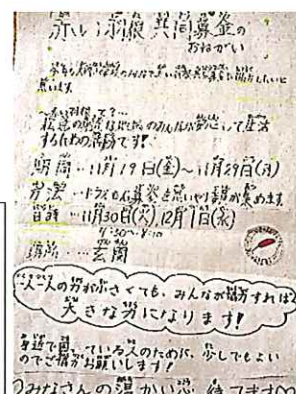


射水市立大門小学校活動報告書

◆赤い羽根共同募金

大門小学校では、困っている人のために赤い羽根共同募金を毎年行っています。募金を呼びかけるために、思いやり委員会の児童がチラシを作成して各教室にお願いに行ったり放送で呼びかけたりしました。11月30日、12月1日に回収を行い、たくさんの募金が集まりました。



募金をしたことはあるけれど、集めたことは初めてでした。こんなにもたくさんの人が協力してくれてうれしかったです。集める時に「ありがとうございます」と言って、いい気持ちになりました。

この募金をきっかけに、身近にも困っている人がいるのだと知ることができました。たくさんの人が協力してくれて、やりがいを感じました。

◆クラスのよいところを伝え合い、認め合う「ぽかぽか鍋」活動

みんなが思いやりの心をもって生活するためには、まず、身近な集団の中で認め合えることが大切であると話し合いました。そこで、自分のクラスの好きなおとことりや自慢に思うことなどをミニカード



5年生に書いて掲示する「ぽかぽか鍋」活動を全校に呼びかけて行いました。大きな鍋の絵の中に具材に見立てた色とりどりのカードが並び、それをのぞき込んで嬉しそうにしている姿が見られました。

みんなで褒め合うことで、クラスの雰囲気がよくなりました。クラスの良いところをたくさん知ることができたのでうれしかったです。

みんなにぽかぽかの心をもってもらいたいと活動したので、自分もぽかぽか言葉をたくさん使いました。そうしたら、みんなもぽかぽか言葉を使って笑顔が増えたのでうれしかったです。

◆共に生きる～輝かせよう一人一人の命～（福祉体験）

5年生は、総合的な学習の時間に「共に生きる～輝かせよう一人一人の命～」をテーマに、福祉について学ぶことを通して、みんなが幸せに暮らせる社会について考えました。ブラインドサッカーやお年寄り体験等を通して、相手の気持ちに寄り添った声かけの大切さや温かさを感じ、これから出会う人たちとも、共に声をかけ合い助け合っていこうという思いをもちました。また、9月に開催されたパラリンピックにも興味をもち、競技について調べる中で、選手の様々な苦労や努力を知り、自分たちも何事にも諦めずに取り組んでいこうという思いをもちました。

《子供たちが書いた『共に生きる宣言』》

辛くてもがんばっている人のすごさを尊敬します。だから困っている人がいたら積極的に助けられることを見付け、みんなが幸せな社会をつくっていきます。

いろいろな人が、見えない努力をかかえて生きています。だから、自分たちもあきらめない気持ちを大切にしていって、共に助け合って生きていきます。

その人は今幸せなのか、辛さはないのかななどを考えて、その人が困ったり、傷ついたりしていたら、助け合える、そんな強さを身に付けます。

たくさんの人の努力や頑張り気配に気付くことのできる人になりたいです。そして、いろいろな考えを大切にしていって、理解し合います。

